



▲山から里へ花と遊ぶメジロ(桜丘5丁目付近)

## 12月定例会

議員定数削減 16人から14人に  
議員定数改正の条例**可決** **2～3**

吉原農区活性化整備基金の使途に疑義集中  
一般会計補正(第5号) **否決** **4**

委員会現地調査…現場から学ぶ **16～17**

## 最後まで全力を尽くします! 常任委員会紹介



建設常任委員会  
堤委員 熊本委員 吉田副委員長  
池邊委員 稲永委員長



厚生常任委員会  
大西委員 大熊委員  
西川副委員長 丸山委員長 大林委員



総務文教常任委員会  
牛房委員 二宮委員 末藤委員  
吉住副委員長 助村委員長

### 4年間ありがとうございました。

しめ議会だよりは、今委員会では3月号(第59号)が最後となる予定です。

委員全員が一致団結して、議会の動きを正確に、限られた紙面の中で伝えることに傾注してきました。

全国町村議会広報、県町村広報研修会において高い評価を受け、他県から研修にも見られました。

町民のみならずからも読み易いとの声があるなど、ご愛読頂きましたことに感謝申し上げます。



広報委員会  
吉田委員 大熊委員 二宮委員 大西委員  
古庄議長(発行責任者) 堤委員長 助村副委員長

### 表紙写真の説明・写真募集

表紙の写真は吉岡栄治さんに提供していただきました。皆さまからの写真提供(志免町の四季)をお待ちしています。

### みんなで徹底しよう「三ない運動」 政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止



### お知らせ 次回の定例会は 3月4日より

傍聴に是非お越しく下さい。  
議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。  
是非お越し下さい。車椅子席もあります。  
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

「議会だより」についてのご意見をお待ちしております。  
TEL 935-1001 FAX 935-7070  
議会事務局は町役場4階です。  
メールアドレス:gikai@town.shime.lg.jp



# 16人から14人に削減 議員定数改正の条例 **可決**

第7回  
定例会

12月定例会は3日から15日までの13日間の会期で開かれました。一般会計補正予算は否決、議案10件を可決。請願1件を継続、請願2件、要請書1件、意見書3件を採択。固定資産評価審査委員会、情報公開審査委員会に同意しました。一般質問は12月6日から8日までの3日間で9人が行いました。

住民より議員定数削減の請願(1)が出され、審査のため議長を除く15人による特別委員会を設置し採択。(2)  
採決の結果を受け、定数削減の条例を議員提案。(二宮議員が代表して提案)。  
本会議にて可決。(3)

## (3) 議員定数を削減する条例 賛成多数で可決(賛成8・反対7)

**【賛成】**堤・助村・丸山・牛房・大西・吉田・熊本・二宮  
**【反対】**大熊・吉住・西川・池邊・大林・稲永・末藤  
※議長は採決には加わりません

### 賛成討論

堤議員

厳しい経済情勢の中、補助金等の見直しで住民にしわ寄せがある。

自分たちの町は自分たちで創るという理念の下、協働のまちづくりをめざして頑張るといふ請願主旨に込めたい。請願を出す方も心地よくないはず。1人当り3158人、621㎡は目の届く選挙地区で妥当と判断。重要な職責は資質向上と協議で。

吉田議員

地域主権が声高に言われる時代、二元代表制の一翼を担う地方議会の在り方が問われている。信頼が寄せられる議会であるためにも請願をしっかりと受け止め込めたい。今後は少数精鋭の目的集団となり議会基本条例に基づき、資質の向上に努める。定数削減の結果を生かし有意な人材が活躍、活力ある議会としたい。

助村議員

今回、住民の皆さんから2削減し14人とする請願が出された。背景は財政のコスト削減だけでなく議会の資質の改善と向上を願うところ。議員一人ひとりが真摯に受けとめるべきと思う。議会基本条例を実施する中で、住民との対話や意見交換などから民意が反映でき、範囲も広がっている。

丸山議員

議会は民主主義を守る仕組みとして必要で、十分に機能を果たさなければならぬ。定数が少なくなつた分は議員一人ひとりの資質向上や通年議会等に対応できると思う。今後、議会や議員の活躍への期待が住民の間で広がっていくように努めたいと考え賛成する。  
※反対討論なし

## (1) 志免町議会議員定数削減の請願

(請願者)

小山田幸雄 志免町王子4丁目 他5人

「削減数」 2人(現行16人を14人とする)

「理由」 行財政改革、議会改革の一環として

(要旨)

緊縮財政下、福祉助成金のカット等において、町民は忍耐強く、町政に協力している。議会においても出来る限りの努力はなすべき。今日、全国各地自治体では、日々の新聞報道で、「企業や行政が取り組んでいるのに、議会だけ無関係は許されない」とし、人口の増大している市町村でも、行財政改革は、先ず議会から議員を減じ、少数先鋭主義で行政課題に取り組むとの事。  
全国的に、又近隣町でも更に削減をし、議会自ら行財政改革、議会改革を積極的におこなっている。志免町も更に2減の14人でもやっていけると思う。

「協働のまちづくり」をめざして住民も頑張っていく。町議会の資質の改善と向上を切に願って請願の趣旨をご了承の上、決定されるよう請願申し上げる。



採決前の本会議のようす

## (2) 議員定数削減の請願審査特別委員会

委員長 牛房良嗣  
副委員長 丸山真智子  
〃 堤久美子

反対意見として  
・拙速であり、議論が尽くされていない。  
・なぜ2人減なのか理由が分からない。  
・継続審査にすべきなど。

賛成意見として  
・行財政改革の中、議員の削減は当然。  
・町民の意志である。  
などが出された。

採決の結果、7対7の同数となり、委員会条例に基づき委員長採決で採択。

※委員会条例第14条  
委員会の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。



# 条例

## 社会福祉法人の助成に関する条例の制定

補助金の見直しの中で助成の根拠を示すことが求められ、手続きを定めた。

- ・現在該当の法人は
- ・志免町社会福祉協議会
- ・柚の木福祉会

全員賛成

## 公共下水道事業会計を企業会計方式とする条例の制定

特別会計から企業会計に移行する。事業経営の適正な経費負担区分により健全性と独立採算を目指す。

賛成多数(賛成13・反対2)

## 高齢者等集会所

## 「コミュニティの部屋」条例の制定

松ヶ丘町内会の高齢者の教養の向上と、福祉の増進及びコミュニティ活動を促進するために設置することに伴い、指定の期間、使用の許可、施設の維持管理費などが定められている。

全員賛成



終盤に入った下水道工事



活動がまたれるコミュニティの部屋

## 平成22年度 特別会計補正

- ・国民健康保険 ..... 460万円増 総額44億6,958万円 全員賛成
  - ・後期高齢者医療保険 ... 308万1,000円減 総額4億3,612万円
  - ・水道事業会計 ..... 339万円増 総額8億6,276万円 全員賛成
- 賛成多数(賛成14：反対1)
- 桜丘浄水場水道用地災害本普及工事

## 平成22年度一般会計補正予算(第5号)

### 2,550万円増の補正

## 圧倒的反対で否決

(賛成2：反対13)

[賛成] 池邊・熊本

[反対] 堤・大熊・助村・丸山・吉住・牛房・大西・西川・吉田・稲永・大林・二宮・末藤



農地耕作の有効利用を(吉原地区)

## 補正の主なものは

- ・財政調整基金積立金
- ・地理情報システム
- ・タンポポ保育園整備事業補助金
- ・私立幼稚園就園助成金
- ・農業振興費(特別旅費)など2,550万円増の補正予算が提案された。

予算特別委員会での審査で「吉原農区活性化整備基金繰入金」による先進地視察旅費、137万5,000円について指摘がなされた。

農業費として計上しているが、所管事務でない生活環境課が説明できるのか。吉原農区の活性化整備基金は、予算要求された場合、毎年支出するのか。基金の使用は慎重に対応すべき、実施計画書の不備、視察内容などに疑義が集中した。

採決の結果、賛成2反対13で一般会計補正予算第5号は否決となった。

## 反対討論

吉原農区活性化基金の活用として、研修旅費13名で137万円計上されている。目的は「治水改善」と「後継者育成」となっているが、この問題は昔から議論されている事であり、改善策や対策は当然研究されているはず。その点を検証するのが先決だ。前議会で毎年2千万円、10年で2億円の基金を可決したが使途に問題有り。

吉原農区活性化整備基金の事業予算が二課にわたっており混乱している。所管の違う課で実施計画書の内容や書類の不備を指摘しないまま受理。旅費も議会旅費の二倍近い予算となっており、農業後継者育成となっているがその名簿も提出されていない。

再度詳細な実施計画書を提出すべきと指摘する。

丸山議員  
処理場の土地賃貸借契約更新で、確約された吉原農地のための基金を今年度分2000万円を取り崩し、視察旅費に血税が使われることに納得できない。

昨年策定されたマスタープランでは吉原の農地の半分は流通・工業地に変更されている。今回の視察の目的に矛盾がある。

※賛成討論なし





## 請願・要望・陳情・意見書

請願	提出者	内容	採決結果
永住外国人への地方参政権付与の法制化について慎重な審議を求めるもの	日本会議福岡 理事長 山本泰藏	日本の将来の根幹を揺るがす重要な問題であり、法制化に慎重かつ十分な審議を国民が理解しないまま国会で判断することのないよう、強く要望する。	継続審査
志免町議会議員定数削減	志免町王子4丁目 小山田幸雄 他5人	志免町行財政改革、議会改革の一環として議員定数16人を2人削減し14人とする	賛成多数で採択
TPP (環太平洋経済連携協定)への対応	粕屋農業協同組合 横大路廣章	わが国及び本町の農業に対する壊滅的な打撃を与えるTPP(環太平洋経済連携協定)交渉については断固として参加しないこと 建設委員会で一部修正 断固として参加しないことを拙速に判断せず、参加の是非を国民に問うなど国民的議論を踏まえて慎重に対応すること	賛成多数で採択 意見書を国へ提出

要望	提出者	内容	採決結果
TPP交渉参加断固阻止に関すること	志免町農業委員会 山崎泰博	志免町農業委員会は我が国の農業、農村の存立を脅かすTPP交渉への参加を断固として阻止する。	賛成多数で採択

意見書	提出者	内容	採決結果
国民的合意形成なくしてTPPに参加することに反対	末藤議員	食料主権を保障する貿易ルールをめざす国民的な共同をよびかけること。	みなし「採択」
切れ目ない中小企業支援及び金融支援を求めるもの。	大西議員	中小企業の資金繰り支援策として、2010年度末(2011年3月)で期限切れとなる中小企業金融円滑化法と緊急保証制度を再延長し、保証枠を拡大すること。	賛成多数で採択 国へ意見書を提出

### ご意見を伺うために、おいでいただいた方々(参考人)

請願などを議会で審査する時に、内容を請願者や関係者に詳しく説明をしていただくために、議会へ来てもらって意見を聞くことを参考人招致という。

#### この4年間でおいでいただいた方々

参考人	備考	年月
松ヶ丘町内会長 安松 迪雄 会長	「コミュニティのへや」設置に関する請願	20年6月
粕屋地区社会保険推進協議会 代表 三野原 厚 他1名	国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の45%に戻すことを求める請願	21年3月
福岡県建設労働組合 三根 善好	戸建て住宅に対する耐震改修助成制度の創設を求める請願書	21年9月
吉浦 孝子 他1名	中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書に関する請願書	21年12月
別府2町内会長 安武 高晴	志免西小学校の分離・新設を求める請願書	21年12月
福岡県保育団体連絡会 野林 圭子 他1名	保育制度改革に関する意見書提出	22年6月
日本会議福岡 梶栗 勝敏	永住外国人への地方参政権付与の法制化について慎重な審議を求める請願書について	22年12月

## 臨時議会

### 第6回

11月24日開催

#### 平成22年度一般会計補正予算(第4号)

歳出のみの補正で、歳入歳出の総額108億3538万円は変わらない。

賛成多数(賛成11・反対3)(欠席1)  
二宮  
(賛成)堤・大熊・助村・丸山・池邊・牛房・西川・吉田・稲永・熊本・  
(反対)大西・大林・末藤  
(欠席)吉住

#### 〈補正の主なもの〉

- ・議員期末手当 85万円減
- ・早期退職勧奨などに伴い退職手当負担金 7343万円増
- ・財政調整基金積立金等 7000万円減額し調整
- ・国民健康保険150万円・後期高齢者医療特別会計繰越出金7万円減など。

#### 職員給与の一部改正

人事員勧告に基づいて、民間との格差を調整するため。  
中高齢者の給与月額0・1%さらに55歳を超える職員の月額1・5%引き下げる。ボーナス(期末手当・勤勉手当)年間0・2月分引き下げる。  
4月から逆のぼって調整。

賛成多数(賛成12・反対2)(欠席1)

#### 住居表示実施に伴い、条例の一部を改正

鏡・御手洗共同利用施設・アネシス公民館の住所が10月30日から変更。  
賛成多数(賛成12・反対2)(欠席1)

### 第8回

12月22日開催

#### 平成22年度一般会計補正予算(第6号)

12月定例会で否決された予算案から、吉原農区活性化整備基金繰り入れ金による先進地視察旅費である特別旅費を削除し、再提案された。  
2415万円増、総額108億5953万円

賛成多数(賛成12・反対3)  
二宮  
(賛成)堤・大熊・助村・丸山・池邊・牛房・大西・西川・吉田・大林・熊本・  
(反対)吉住・稲永・末藤

#### 〈補正の主なもの〉

- ・システム構築業務委託料 4500万円
- (パソコンに地図を取り込む地理情報システムで、関係各課が管理)
- ・老人保護措置費 138万円
- (虐待のため1人入所措置費9月から3月までの費用)
- ・タンポポ保育所整備事業費補助金 3550万円
- ・前年度福岡県妊婦健康診査支援事業補助金精算返還金 476万円
- (5回から14回に法改正されたが、平均9回の受診となったため)
- ・ALT委託料 112万円減
- (外国語教育による外国人講師受け入れの入札差金)



外国人講師と子どもたち(南小学校英語クラブ)



# 総務文教常任委員会

## 発達障害 相談体制の充実を

### 小学校と幼・保の 連携

小一プログラムと発達障害への対応については、志免南小学校の取り組みの実際と調査の研究。幼保小連絡協議会を設置し、校区内の幼稚園、保育園との連携。情報交流、個別指導の実施、必要に応じた訪問が行われている。各小学校で、それぞれ取り組みはなされている

が、相談体制の充実と、教育委員が一体となった取り組みを要請した。

### 2学期制の検証

メリット、デメリットはあるが、大きな効果として、年間計画が立てやすく、継続的な学習への取り組みで、学力は上っているとのことである。

### 行財政 再構築プラン

平成23年度からの3年間にやらなければならない事業(学校施設の整備、保育園の改築など)に照準を合わせる財政計画に取り組む。  
志免町の身の丈、およそ90億円の予算について理解して頂く取り組みが大事であると指摘。

しかしデメリット解消への努力と、保護者への理解を深めることが大切であると指摘している。



▲南小5年生と南保育園児の交流

# 厚生常任委員会

## どうなる志免保育園



▲移転が待たれる志免保育園

### 保育行政について

4案が提示された。内容はこれからの審査となるが、現在の園舎と同じ広さをメインパーク内に確保し建設、その後解体する案について、公園の区域変更を伴い、都市計画法で閲覧や公聴会が必要となり、12月広報、ホームページに掲載する。

### 未就学児の 子育て支援

シームレス内の「にじいろぼけっと」のあり方を検証。スタッフを配置したがいいのかわりか等を調査するため、須恵町と宇美町を視察することとした。

### 医療制度改革と 健康づくり

特定健診・特定保健指導

では受診率25・7%と低い状況であり、未受診559人にアンケートをとり、回答率は36・1%で、理由は病院受診中や申し込み忘れ、行く時間がなかったなどで、その対応をする。  
アンケート結果を生かし、受診率アップに取り組むよう要望。あらゆる機会をとらえ、啓発を行うよう提言している。

### 障害福祉

手話通訳派遣事業は21年度窓口での利用が月平均延べ80人、実人数18人で、派遣の場合町内は窓口手話通訳者1人が出かけて行っている。町外は県の連合会が対応。役場窓口には1人の設置で派遣で出かけた場合に利用ができない。  
コミュニケーション事業は地域生活支援事業の必須事業であり、23年度に予算要求したいとのことである。  
以前より要請していた障害者就労支援セミナーの開催を今年度中に実施するよう再度要請した。

# 委員会報告 (調査・研究)

# 町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

## 建設常任委員会

### 下水道事業 特別会計から企業会計へ

公営企業への法適用について、資料収集の整理、資産評価、条例、規則等の作業を終え、新年度予算の作成にとりかかっている。  
今議会に条例改正案を提出する。

### 上水道事業

これから冬季渇水期に入るため、11月26日より筑後川水系の取水制限が行われている。自己水源の御笠川、宇美川の水位も低下状況にあるが、取水に支障はない。  
現在福岡水道企業団からの受水日量4400ト

### 内水対策

東区関係で、南里水路の上流部の橋脚のコンクリート撤去工事に着手。豪雨時に宇美川から逆流していた南里3町内会の久保田橋下流の逆流防止水門設置工事が完了。



▲久保田橋下流逆流防止工事

# 議会運営委員会

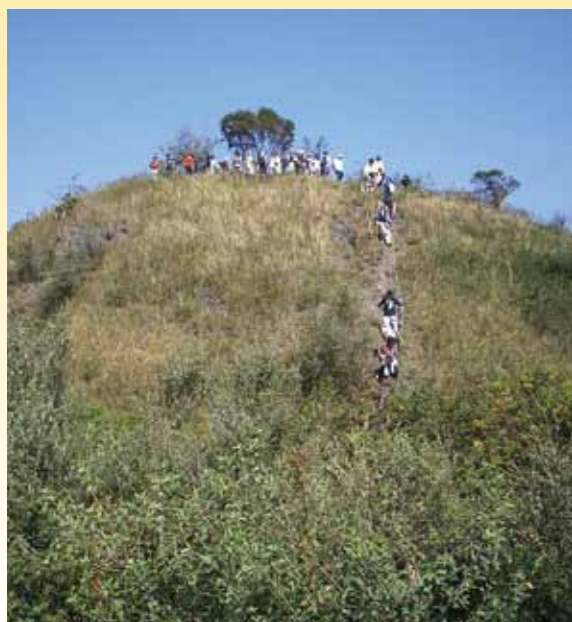
## 議会報告会実施を 答申

9月議会で議会基本条例が制定され、その中の議会報告会を今年度中に1回実施すべきと答申した。定数削減の請願が提出された。  
この請願については議長を除く全員による特別委員会を設置することにした。

## 志鉦跡地対策特別委員会

### ぼた山開発プロジェクト設置提案

現在3町ぼた山開発推進協議会総会において、当委員会より、ぼた山開発に向けたプロジェクトチームの設置を提案。早期に実施するよう担当課に要請している。



▲自然型活用で協議が進むぼた山

## 福岡都市圏広域行政調査 特別委員会

### 地域活性化へつなげ

空港問題について問題点の整理、地域の活性化につなげていくための協議などを町長間でしっかりと行ない、必要な事案については、積極的に国・県に提言する事を執行部へ申し入れる。



# ズバリ町政を問う

●一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。  
●一般質問は会議録にもとづき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

## 商工支援！ 早急に新制度創設を

答弁：制度の改善を進める

大西 勇議員



大西 我が町の経済を支えているのは中小規模事業所と言っても過言ではない。  
町長 私もそのとおりだと思う。  
大西 緊急保証制度は国

が保証料金を100%保証する。この制度が来年3月で廃止が決定した。我が町の小口融資制度を利用しやすいように、保証料金保証制度を早急に創設すべきだ。  
町長 できることは取り組んでいく。

空き家空き地マップを  
答弁：早急に取り組む

大西 堅坑が重要文化財になり関連した、堅坑周

辺の旧炭住街等の路地に色々な人が見学に入ってくる。  
住民とのトラブル対策をしつかり考えるべきだ。  
町長 地元町内会及び役員の皆様と十分話し合い対策を検討したい。

大西 空家、空地が目でわかるようなマップをつくるべきだ。  
町長 早急に危険廃屋、空家、空地マップをつくる。



▲整備が急がれる炭住家屋



▲利用が多く住民に親しまれる町民広場

稲永 正昭議員



本人の希望により、質問通告の件名、  
要旨のみ掲載します。

件名 4期16年をふり返って町政を問う

今後の下水処理

(内水対策)

要旨

③人口増化と財政

①水行政  
人口増と町の活性化について、町長の所見、感想は。

・町民へのサービスは向上したのか低下か

②下水道行政  
・水規制の解除  
・開発に伴う要綱の撤廃(水、ゴミ、教育)  
・今後の上下水道事業

④町民広場  
・防球ネットの設置を

⑤堅坑  
・財政上どのように考えてあるか

・防球ネットの設置を

・町長の所見、感想は。  
汚水処理  
下水道整備

## 幼保一体化 町は保育に責任をもて

答弁：保育義務は継続する

末藤 省三議員



末藤 保育所と幼稚園をなくして「こども園」にするなど、子育て制度を全面的に変える新システムの導入である。  
今まで保育園における子どもの保育の責任がな

くなることになるが、志免町の保育をどのように考えているのか。  
子育て支援課長 今は事業ごとに所管や制度、財源が分かれており、これを一本化し包活。保育義務は継続する方向で考えている。

TPP反対に声を出せ  
答弁：大変心配している

末藤 TPP問題は、日本農業に壊滅的打撃を受

ける、関税が全廃されたとき、米は90%減、小麦99%減、牛肉79%減、豚肉70%減であらゆる分野で現在40%まで落ち込んでいる食糧自給率は、12%まで落ちこむ。志免町民の生活はどうなるのか。

町長 例外なしの完全自由化であり、日本農業の衰退と地方の関連産業や雇用を失うことになる。日本の原風景も将来失ってしまう。大変心配している。



▲寒さに負けず元気に遊ぶ園児たち(あかつき幼稚園)





▲相談体制の充実のためネットワーク会議開催



助村 千代子 議員

助村 児童相談所が対応した虐待の実態と、町の相談機関への相談件数は、子育て支援課長 児相に入所が19人町への相談は今年度が52件。

助村 相談・通報の情報は一元化されているのか

## 児童虐待

### 未然に防ぐ対策を

答弁…庁内連絡協議会で対処

子育て支援課長 当該で一括管理している。

助村 町で虐待防止の周知は、気づくためのチェック項目等を入れ、住民にわかりやすくすべき。

子育て支援課長 検討する。

子宮頸がん予防積極的に答弁…国の動行を見て検討

助村 子宮頸がんはほぼ100%予防できる唯一

のがん。現在行なわれている細胞検診にHPV検診の併用が有効であるが、健康課長 国のがん検診指針にない。併用検診は国県の動行を見て調査検討する。

助村 50歳を過ぎると子宮体がんのリスクが出てくるので、体がん予防の啓蒙も行ってほしい。

健康課長 特定健診の結果説明時に行っているが枠を広げて推進したい。

## リーダーシップ 発揮されているのか

答弁：私も悩んでいる

丸山 粕屋地域が一体となってアピールできないか提案した。

近隣の首長にどう動かれたのか。

町長 粕屋郡の町長会で提案したが難しい。



丸山 真智子 議員

丸山 志免町地球温暖化対策実行計画が平成19年に作成された。

地球温暖化対策の状況 答弁…7%の削減に至る

【その他の質問】  
●高齢者の虐待防止

丸山 親水空間、ファミリアーム構想等の公約も実現していない。

町長 理想と現実のはざままで悩んでいる。

丸山 目標は抽象的でも政策の中身を具体的に実行するのが首長の役割だ。

学校の太陽光発電の導入、運動場での雨水一時貯留等の取組はされているのか。

学校教育課長 コスト面で問題がある。

丸山 県が進めているエコファミリアー事業に取り組んだらどうか。

生活環境課長 取り組み。



▲職員に訓示する町長(12月28日)

## 町長の仕事 トップセールスへ転換

答弁：行動を起こしていく

牛房 町長の仕事は内向きから外向きへ転換すべきである。今、福岡・九州に百年に一度と言われる変化とチャンスが到来。空港の拡張、九州新幹線の開通、博多港に観光



牛房 良嗣 議員

船急増と、最隣接する志免町には陸海空にわたるビッグチャンス。

町長のトップセールスに期待をする。

町長 同じ考え。福岡市長、市議会などとしてしっかりと交流をしていく。

ビジネスチャンスが生まれている。

行動を起こして行かなければならない。

牛房 空港工事へ地元企業の参加、滑走路建設にボタ山の残土、宇美川の

川砂の活用、又福岡市席田・月隈地区との幼保小中学校の連携などは、トップでなければできない。

町長 地下鉄線などをどのように生かし、町の将来にどのように役立てていくのか、トップセールスが必要である。

いろいろな情報を収集し、粕屋地域としてプロジェクトが展開できるように頑張っていく。



▲しめブランド出店(アクロス広場にて福岡県町村フェア)



堤 久美子 議員

## まちづくり

### まちの見える化を図れ

答弁…今後検討する

堤 誰もがまちを想っているはず。それを見える化すれば共働できる。ありがとう500選をスローガンに掲げて募集を。総務課長 できればすばらしいことと思う。住民の方々に試行的なことが

できたら参考に。町長 公平、公正という観点を考え、方法、整備等について今後検討する。

堤 例えば、学校、家庭、ボランティア団体等でありがとうということを取り上げ、ホームページ等に掲載していくと、やさしい心豊かなまちになる。

かすやの交流推進を答弁…23年度一事業追加

堤 広域プロジェクト推

進事業はどの段階か。経営企画課長 農業体験は久山、粕屋に続いて23年度宇美町が開園。お宝百選プロジェクトを23年度展開。

堤 商工会を取り込むほうが活性すると思うが。経営企画課長 商工会との相談、連携を積極的にやる。ガイド、ボランティアも広域で育成する。



▲変化とチャンスを活かせ 福岡空港問題



# 議会あれこれ



今年は今  
統一地方選挙

志免町の将来は  
皆さんの一票で決まる！

議長 古庄信一郎

終わりはありません。町民の皆様お一人お一人の意思表示(選挙)も改革への大事なステップです。選挙は4月24日です。

議会の

ホームページも一新  
本会議インターネット  
配信も検討中

開かれた議会と情報の共有のため、ホームページを一新し、本会議のインターネット配信も検討中。情報化時代に対応するこれらも改革です。

「議会が変われば町も変わる」

議会へのご理解とご支援を今後共よろしくお願い申し上げます。

元年がスタート。新年早々、新聞の紙面は統一地方選挙の年だけに近年になく自治体・議会についての記事が連日大きく掲載されました。

「変わるか地方自治」「分権から主権」「住民意思の反映を強化」そして「二つの民意、首長と議会の関係、有り方」これらのタイトルを見るだけで、これからの地方自治の課題が明白であります。

志免町議会もこれらに出来るべく議会改革に取り組んでまいりましたが改革に

※議会へのご意見をお待ちしております

◆議長へのメール…simegityo@yahoo.co.jp

## 初 志免町議会「議会報告会」のご案内

日時：平成23年2月13日(日曜)  
午後1時30分より \*受付午後1時より

会場：町民センター視聴覚室

主催：志免町議会

内容(予定)

- ◆9月議会の報告  
21年度決算・補正予算・各委員会報告  
基本条例の制定等
- ◆12月議会の報告  
補正予算・各委員会報告・請願・陳情  
議員定数削減等
- ◆質疑応答
- ◆意見交換

志免町議会よりご案内申し上げます。  
議会改革の一環として、町民の皆様と町政の課題を共有し、より良いまちづくりを推進するため「議会報告会」を開催いたします。  
たくさんの町民のご参加を、心よりお待ちしております。



▲議会基本条例で、11月4日奈良県町村議長会13名の方が視察研修で来庁。

## 農業対策

### 農業活性にカンフルを

答弁：基金を創設している

熊本 廣議員



熊本 米だけでは食べていけない。農家数は減っている。農業を活性化させるカンフル的な施策は、町長 市街化調整区域は農業しかできない。その



▲住民参画条例策定に向けたワークショップ

## 人権問題

### 人権を守る条例策定

答弁…一定の整備をしたい

二宮 美津代 議員



二宮 男女平等・子どもの権利・高齢者の権利を守る条例を策定し、人権侵害への配慮をすべき。町長 いろいろな人権侵害で苦しんでおられることを理解することが大事。町では、子どもの権

二宮 「条例は町の憲法」です。条例整備のスケジュールは、町長 策定しなければな

利条例を2006年に制定し、現在住民参画条例を策定中である。その後一定の整備をしたい。

二宮 一定の整備とは、

町長 男女共同参画が必

【その他の質問】

●高齢者の虐待支援への取り組み(成年後見人制度)

●税金の大切さを知ってもらう取り組み

う。活性化に向けて、基金の創設をした。功を奏してくればと期待する。熊本 市街化区域と調整区域の農地ファミリ農園借り上げ料は、地域整備課参事 借り上げ料は一律500円。熊本 固定資産税は、地域整備課参事 市街化区域1反当り9万7000円、調整区域19000円。熊本 農業体験農園に切りかえていくべき。

土地の先行取得必要か  
答弁…事象にもよる

熊本 公園取得は土地が安く必要な場合、直に買うことはできないか。副町長 緊急に取得する場合、直接予算計上で取得する。土地開発公社はしばらく残す。熊本 借地公園を町有地にする方針にしてほしい。



▲借地による公園



# 現地の視察 現場から学ぶ



▲広くなる職員室(志免中学校)

## 教育環境の充実を

### 総務文教常任委員会

**目的**  
教育環境の充実と耐震化に向け、計画的に増改築が行なわれており、6月より始まった前期工事区間の進捗率は50%。現在仮設校舎で、職員室、事務室、保健室、音楽室などを移設し工事が進められている。

**日程**  
11月18日

**視察先**  
志免中学校

昭和45年に竣工され、40年の経過で老朽化して

おり、トイレも少なく、洋式化と増設、窮屈だった職員室も広くなる。耐震補強工事は新たな工法により40%の進捗。

後期工事の完了を今年度中に予定している。

**教育環境の充実をしっかりとすべきと要請している。**

町立小・中学校施設の耐震化を平成27年度末までとしている。

耐震診断の結果は、広報しめ11月号とホームページで公開されている。

## 未就学児の居場所づくり

### 厚生常任委員会

**目的**  
「にじいろぽけっと」は現在9時から17時までの開館、休館は月曜日とお盆、年末年始。

**日程**  
11月2日

**視察先**  
・須恵町「あそびのひろばつくしんぼ」  
・宇美町「子育て支援センター「ゆうゆう」」

対象は町内、町外の学前児童で親子同伴、小学生など年齢制限はなく、利用料金は無料。

「にじいろぽけっと」は現在9時から17時までの開館、休館は月曜日とお盆、年末年始。

対象は町内、町外の学前児童で親子同伴、小学生など年齢制限はなく、利用料金は無料。

気になる親子などがいれば、隣室のサポートセンターのアドバイザーが



▲あそびのひろばつくしんぼ(須恵町)

## 水の安定配水に向けて

### 建設常任委員会

**目的**  
・大山ダムの進捗状況  
・山口調整池の現況

**日程**  
11月16日

**視察先**  
・日田市大山ダム  
・筑紫野地区山口調整池

大山ダム建設の目的は

- ①洪水調節
- ②既得取水の安定化
- ③河川環境の保全
- ④新規利水など

平成24年度完成予定で総工費1400億円、総貯水量1960万トン。

完成すると、志免町は日量1700トンが福岡地区水道企業団から配水される。

桜丘低区配水池の整備に続けるよう要望している。

山口調整池は400万トンの貯水施設で福岡導水の一部を貯留し、取水制限及び施設のトラブル等が発生した場合に補給する。



▲大山ダム工事の状況(日田市)

## 読まれる「議会だより」を

### 議会広報特別委員会

**目的**  
住民目線の編集をめざして

**日程**  
11月19日

**研修地**  
福岡県自治会館

住民目線で、難しいことを分かりやすく、硬いことを柔らかくすること、大事だと講師は力説された。

講師は熊本日日新聞の越地真一氏で、新聞を生きた教材として活用するNIE活動の推進もしておられ、自分が楽しめなものを、誰が楽しむか

との講話に納得。議会広報と新聞の共通点

- ①要点をつかむ見出し
- ②大事なことを先に(先に結論、後で各論)
- ③正確に分かりやすく(誰れにでも伝わる文章を)
- ④具体性で説得力のある表現など。

例文を紹介し会場とのやりとりで、和やかな雰囲気での学習ができた。

的確な表現力を身につけ、住民が何を求めているか聞き上手な広報をめざしたい。



▲議会広報研修(県自治会館)